

2015年4月7日火曜日

# ものづくり通信

第123号

大阪府ものづくり振興協会 大阪市中央区本町橋2番5号 電話・06-4792-7849

## 第1回生活・化学部会

1月29日（木）大阪弥生会館において開催しました。  
議題は以下のとおりです。

### ○ 各団体事務局紹介

- ・参加組合より各団体の規模（会員社数）、重点活動についての紹介。

それぞれの業界による違いはあるが、組合規模の縮小、少子高齢化、電子化等時代の変化への対応を課題としている点は共通していた。

### ○ 部会活動の再開について

- ・ものづくり産業にとって、ビジネスマッチングやパートナー探しを通じて新しい業態を作っていく必要がある。アンケート等を実施して各団体は何が得意なのか、またそれをどう生かすかについて部会活動を積極的に行い、それを確認、成果に繋げて行きたい旨の発言があった。

### ○ 役員選定方法について(副会長・理事)

- ・事務局より、当部会は生活と化学が合わさった部会であるため、役員選定については再度選考基準等部会内でのルールを決める必要がある、お願いしたい。特に、副会長については輪番により会長に選任される事となるため、理事数の確保を含めて検討が必要である旨、次回の検討課題とする事が合意された。
- ・次期部会長（もの協副会長）の選任も含め、協議を重ねることとする。

### ○ OSAKA-MONO.net について

- ・MONO.netには全加入数8,000社に対して927社と約10%しか登録されていない。傘下企業等まで伝わっているのかどうか。是非、各団体は情報を伝えて貰いたい旨の要請が出された。



## 大阪府事業説明会・もの協事務局会議

平成27年2月17日（火）15:00～マイドームおおさかで行われました。

### ●大阪府の担当者から2つの事業について説明がありました。

#### (1) 事業継続計画（BCP）策定支援制度

BCP(Business Continuity Planning)とは、潜在化している“脅威”による損失とその影響を事前（平常時）に分析し、その結果に応じた対策の検討と導入を行うことで、“脅威”（自然災害、伝染病・感染症、情報セキュリティ事故等）が顕在化した際（緊急時）に事業継続を確実にするための各種手順や情報を文書化した行動計画です。問い合わせ先：大阪府商工会連合会<http://www.osaka-sci-bcp.com/>

#### (2) 省エネ相談・診断のご案内

空調や照明設備などの使い方を工夫する「運用改善」を中心に、実例に基づく効果的な省エネ対策や節電に関するアドバイスが受けられます。また、専門家によるエネルギー使用量の現状分析と、具体的な改善策を報告書にまとめてアドバイスをしてくれます。いずれも無料です。

問い合わせ先『おおさかスマートエネルギーセンター』



### ●もの協事務局会議

- (1) 「OSAKA-MONO.net」の活用について：よりよく活用していくには、登録者数を増やすことにあるので、再度お願いし、担当(株)NOTEが個別訪問することを伝えた。

## 協会だより

◎平成27年度	運営委員会	4月21日(火)	15:00~	大阪市中央区民ホール
◎	理事会	5月12日(火)	15:00~	大阪市中央区民ホール
◎	理事会	6月12日(金)	17:00~	大阪弥生会館
◎	通常総会	6月12日(金)	17:30~	//

## 会員だより

- ◎退会 (3月末)
- ・大阪洋装品工業協同組合
  - ・大阪府鏡工業協同組合
  - ・日本電気計測器工業会関西支部



## 府人事異動

大阪府では4月1日付で職員の異動がありました。

(関係分のみ)

職名	氏名	備考
商工労働部長	ツクミ オサム 津組 修	(留任)
商工労働部次長	フナキ アキオ 船木 昭夫	前 中小企業支援室長 (櫻岡前次長は大阪府立急性期・総合医療センター事務局長へ)
中小企業支援室長	イシキ シンイチ 石木 慎一	前 中小企業支援室副理事
ものづくり支援課長	ハヤシ ヨウイチ 林 要一	(留任)
ものづくり支援課参事	クスモト タダノリ 楠本 忠範	(留任)
// 製造業振興G課長補佐	コヤマ ヨウコ 小山 庸子	(留任)
// // 課長補佐	ヒラタ ヒロフミ 平田 博文	(留任)
// // 主査	スズキ ヨウスケ 鈴木 洋輔	(留任)

※ ものづくり支援課領家誠参事は、中小企業支援室経営支援課長に異動になりました。

業務担当	担当者名
大阪府ものづくり振興協会(主担当)	平田博文課長補佐(留任)
大阪府ものづくり振興協会(副担当)	エノハラ ヒトシ 江原 均 専門員(留任)
憲法知事(産功)、商工関係者表彰	ヨウダ リョウノスケ 香田龍之介主事(留任)
国家栄典関係	サタケ ミキ 佐竹美貴副主査(留任)

## 近畿経済産業局人事異動

\*4月1日付で職員の異動がありました。(異動者のみ掲載)

職名	氏名
産業部 部長	トダ ヨシカズ 戸田 美和
産業部 次長	シガ ヒデアキ 志賀 英晃
製造産業課長・ものづくり産業支援室長	モリシタ ツヨシ 森下 剛志 (併任)
ものづくり産業室 室長補佐	マスダ ノリオ 増田 憲郎

事業主の皆さま・パートタイム労働者の皆さま

## パートタイム労働法が変わります 平成27年4月1日施行

平成27年4月1日から、パートタイム労働者の公正な待遇を確保し、納得して働くことができるようにするため、パートタイム労働法（短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律）や施行規則、パートタイム労働指針が変わります。

主な改正のポイントは次のとおりです。

### 1 パートタイム労働者の公正な待遇の確保

- ・正社員と差別的取扱いが禁止されるパートタイム労働者の対象範囲の拡大
- ・パートタイム労働者の待遇と正社員の待遇を相違させる場合は、職務の内容、人材活用の仕組み、その他の事情を考慮して、不合理と認められるものであってはならない

### 2 パートタイム労働者の納得性を高めるための措置

パートタイム労働者を雇い入れたときは、雇用管理の改善措置の内容について、事業主が説明しなければならない

### 3 パートタイム労働法の実効性を高めるための規定の新設

雇用管理の改善措置の規定に違反している事業主が、厚生労働大臣の勧告に従わない場合は、厚生労働大臣は事業主名を公表することができる



## 家庭常備薬、健康管理用品の特別斡旋事業



今年も、会員各位の傘下企業の福利厚生、社員並びにそのご家族の健康維持増進のため、家庭における各種常備薬などの特別斡旋を実施いたします。

感冒薬、鎮痛・解熱薬、胃腸薬、目薬、ビタミン剤などの日常必要とする薬品などの健康管理用品、約180品目を市価の20%から80%での提供をしております。  
(詳細案内文は後日メール・FAX等にてご連絡させていただきます。)

## 組合紹介 第13弾

【組合案内レポ Vol.25】

### 大阪金属印刷工業協同組合

所在地：〒530-0044

大阪市北区東天満 2-9-4 千代田ビル東館

設立：昭和26年

組合員数：11社



編集委員が貴組合様を順番に訪問させていただく予定にしておりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



#### ● 組合のあゆみ

当日は、役員会でしたが、船奥 敬理事長はご不在でした。

組合の前身は昭和24年に発足した大阪ブリキ印刷工業協同組合で、昭和26年に大阪金属印刷工業協同組合が設立され今年で64年目を迎える。関連団体には、全日本金属印刷工業協同組合連合会、東京金属印刷工業協同組合、西日本一般缶工業協同組合、西部十八リットル缶工業組合、西日本クラウンズ会があり、情報交換や親睦を図っている。

役員体制は、理事長以下理事9名、監事2名の合計11名である。

組合員全員参加型の組合運営を進めており、役員会を毎月開催し、組合員相互の情報交換に努めている。また、4年ほど前から役員の若返りを図り、結果、平均年齢は30歳ほど若返った。

組合の主な活動は、各社共通の課題である設備・技術・人材育成のレベルアップや燃料費(ガス)、副資材の高騰の吸収策であり、省エネものづくり補助金への取り組みを目指している。

また、技術・人材育成のために各社の従業員の交流も図りたいと考えている。

#### ● 歴史

金属印刷の歴史は、1870年より前にフランスで発達したと伝えられる。日本では1900年(明治33年)にドイツから印刷機を購入して本格的に金属印刷がスタートした。国産の金属印刷機が生まれたのは大正9年頃である。金属印刷の用途は、下記のような市民生活に密着しているものが多い。



- ① 食缶：缶詰類で、魚・肉・果実・煮付け物とジュース・コーヒー等の水物類
- ② 18リットル缶：塗料缶・オイル缶・食油缶 通常は、一斗缶・五ガロン缶・石油缶と呼ばれる
- ③ 一般缶：菓子缶・食品缶・薬品缶など
- ④ 王冠・キャップ：王冠は、酒・ビール・サイダー。キャップは、海苔の佃煮・ドリンク・酒・ウイスキーに使用
- ⑤ 玩具：子供の玩具類
- ⑥ その他：パール缶・トレーなど



但し、現実として金属容器業界は、他素材容器とのコスト競争から軽量化と美観性・密閉性・利便性等での差別化にさらされて劣勢になっていることに加え、消費低迷による需要の減少、円安での原材料高によるコストアップで収益悪化となっている。このことから現在最も重要なことは、需要の掘り起こしであり、次世代の金属容器の創造のための行動を起こすことが必要であると考える。